

田和山の森から

20周年記念事業、11月に実施！

コロナ禍のため延期していた本会発足20周年記念事業を、次の様に今秋行うことにしました。具体的なことに付いては今後お知らせします。会員各自のご協力をよろしくお願いいたします。

○20周年記念行事

期日：令和25年11月5日（日） 会場：乃木公民館大会議室 講師：長濱和代先生

内容：1、式典 2、記念講演 3、ディスカッション 4、懇親会

○記念誌の発行

◎記念講演講師紹介

記念講演の講師を千葉県松戸市在住の長濱和代先生にお願いしました。（会長依頼）長濱先生は現在林業経済研究所研究員ですが、農学博士で日本経済大学教授などを経てヒマラヤ山麓にでかけ、地球環境問題に取り組みながら地域でのボランティア活動に参加されています。小学校教員の経験があり、解りやすいお話が聞けると思います。

この度は、会員外にも呼びかけたいと思います。友人、知人等にも広くPRして下さい。（著書：木が泣いている等）

〓森の活動、松徳学院中学校

先日（7/7）、松徳学院中学校3年生が昨年運び出せなかったヒノキ材を運び出しました。参加した33人がそれぞれ手分けをして木材にロープを巻きつけ引っ張り出しました。運び出したヒノキは全員で皮を剥ぎました。期間が経っており剥ぎ難いのもありましたが、綺麗に総て剥ぎ終えました。

今後はベンチ用に切断しての加工作業が続きます。



森の下草刈り（7/21）



運び出した木の皮剥ぎ



ロープを掛けて運び出す生徒

田和山の樹木 第42回 オニグルミ

田和山にあるクルミ科の樹木は、オニグルミとノグルミです。今回はこのうちのオニグルミです。オニグルミは、北海道から九州まで日本各地に分布するクルミ科の落葉高木で、成長すると20メートル以上の高木となります。葉は複葉で花は5月頃に咲きます。栄養価の高い種子はリス、ノネズミ、ツキノワグマなどの野生動物のみならず、我々の祖先も縄文時代から食用としていました。国内のクルミで食用となるのは本種だけです。奥山の沢や川辺に特に多く自生していますが、そこから流れ出した種子が芽吹き、宍道湖の湖岸や変わったところでは山居川の川岸でもみることが出来ます。田和山のオニグルミは、植栽をした樹です。

オニグルミは実だけでなく、材も滑らかで狂いが少なく、家具材や器具材として使用されています。オニグルミの果皮は写真右のようにこの時期は、緑色ですが熟すにつれ黒くなり、染料としても使われています。



今後の活動予定

8月4日（金）9：00～、11日（金）休み、19日（土）9：00～、25日（金）9：00～、

9月1日（金）9：00～、8日（金）9：00～、16日（土）9：00～、22日（金）9：00～、29日（金）9：00～、